

コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動の 促進に係る調査検討業務報告書について

参考資料5

平成21年7月30日 環境計画課

H21年度

- ・運営ノウハウ集やガイドの作成
- ・市民出資・市民金融発展のための仕組みづくり

- ・H19年度・20年度のモデル事業を受け、よりよいCF運営のためのガイドラインを作成。
- ・平成20年度調査で明らかとなった、市民出資・市民金融を発展させる仕組みについて、より詳細な制度設計を行う。

H20年度

わが国における市民出資・ 市民金融の意義や役割、 発展方策等の検討

- ・H19年度の結果を受けて、我が国において市民出資・市民金融が成立するための要件を検討する。
(例)・必要なリソースを、いかに地域内で調達するか、
- ・CFの力量形成のために何が必要か、
- ・欧米等の先進ケースを参考に。政策として今後どのような取り組みが考えられるか)

H19年度

モデル事業の実施による、 CF側のノウハウ集約と 環境面・経済面での評価手法の確立

- ・モデル事業を通じて、CF側のノウハウを強化する。
- ・事業の結果、現在のCFに足りないリソースは何か、把握する。

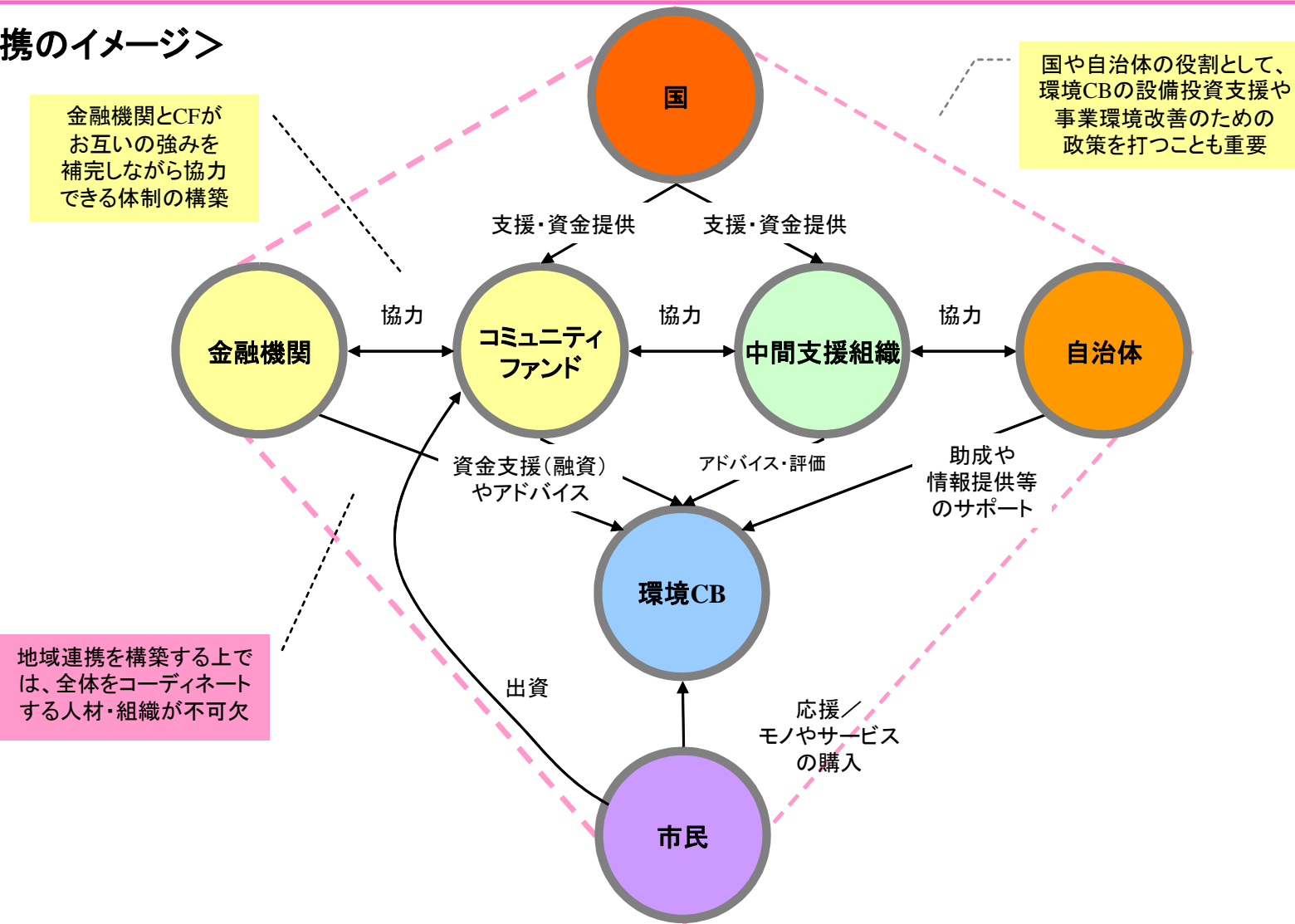
環境分野への市民出資・市民金融の仕組みをより大きな流れにするため、モデル事業を通じて、市民出資・市民金融のノウハウを集約するとともに、その結果を通じて見えてきた課題(足りないリソース)を、どのようにして補えるか検討。

これまでの主な検討成果(地域連携の必要性)

市民出資・市民金融

銀行などの金融機関ではなく、任意の団体が市民・住民からお金を集めて、地域社会貢献を目的とする地域に根ざした事業性・収益性のある事業などに対して、融資や出資を行なう仕組み

<地域連携のイメージ>



これまでの主な検討成果(今後の検討課題)

意義

環境CBの意義

- 環境CBといった新たな主体による環境問題・社会問題解決への期待
- 多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ効率的・効果的に対応
- 社会貢献を通じた自己実現

環境CBの持続的成長を支える市民出資・市民金融の意義

- 環境問題・社会問題解決の主体としての環境CBへの期待
- 多様化・複雑化するニーズに柔軟かつ効率的・効果的に対応
- 環境CBへの出資等を通じた市民の社会貢献、自己実現

確認 できた 課題

市民からCF・CBへの出資を促進する 施策の必要性

- ・出資者の意思を環境問題等の社会的課題解決に繋ぐ仕組み
- ・市民が安心して市民出資・市民金融に出資できる仕組み
- ・CBの成長や社会的価値を実感できる仕組み

CBの持続的成長をさせるための支援の 仕組みの必要性

- ・CBの成長を支える人材の育成・ハンズオン支援の仕組み
- ・CB支援のための地域連携を促進させる仕組み
- ・支援の際のコスト負担のあり方の検討

こうした課題を解決するために必要なことは・・・？

解決 方策

1 環境CBの経営課題を共に解決する人材・組織の育成・ 充実と、官民が協力して支援コストを吸収する仕組み作り

- 1) 環境CBの成長に必要なプロセスをマネジメント出来る人材の育成
- 2) 専門的観点からの支援を行う人材や組織の整備・充実
- 3) 支援にかかるコストを吸収する仕組みを官民が協力して創設

2 出資者が安心して出資できる仕組みや 経済的インセンティブの提供

- 1) 情報的手法による安心感の提供
(CBの第三者評価/ガイドラインの検討)
- 2) 経済的手法による安心感の提供
(市民出資への税制優遇/公的機関等が協力した債務保証)

3 市民出資・市民金融を取り巻く法的課題の解決

- 1) 複数の市民出資に関する法的位置づけの明確化
- 2) 法制度や環境の整備

4 情報発信と普及啓発

- 1) 資金調達に効率的なツールの作成と一般への提供
(市民出資・市民金融の実務マニュアルの作成)
- 2) 法的な課題もフォローする市民出資相談窓口の設置
- 3) 事例の整理と提供